

# ～生活者ファースト～

国民生活を守り、平和を守る



財源を確保して食料品の消費税率をゼロにします。

給付付き税額控除を早期に導入します。

社会保険料負担の〃130万円のガケ〃を解消します。

教育の無償化拡大など人への投資を拡充します。

エッセンシャルワーカーの給料を引き上げます。

企業団体献金を制限し、議員定数を削減します。

多様性を認め合う共生社会づくりを推進します。

現実的な外交・安全保障政策を展開します。

神奈川県第9区選挙区

(川崎市多摩区・麻生区)



HP

# 人づくりなくして 国づくりなし

## りゅう 笠ひろふみプロフィール

1965年	1月3日生まれ 61歳
1983年	福岡県立修猷館高校 卒業
1989年	慶應義塾大学文学部 卒業
同年	テレビ朝日入社 営業局・ 報道局政治部記者
2003年	衆議院議員初当選 (8期連続当選)
2008年	民主党神奈川県連代表 (3期務める)
2010年	文部科学大臣政務官
2012年	文部科学副大臣
2013年	民主党幹事長代理
2017年	衆議院 科学技術・ イノベーション推進特別委員長
2024年	立憲民主党国会対策委員長
現在	党共同国会対策委員長

- 川崎市麻生区 在住
- 好きな言葉 “天命を信じて人事を尽くす”

高市総理は異例の通常国会冒頭解散を断行し、来年度予算の成立は大幅に遅れることになりました。物価高、経済対策など国民生活よりも党利党略を優先した大義なき解散は許されません。私たちは、新党「中道改革連合」を結成しました。〃分断と対立〃ではなく、〃包摂と共生〃の社会を目指します。国民一人ひとりが自分らしく生き、その活力が社会の発展を支える政治を目指します。

皆さんの選挙で、衆参両院で与野党の勢力が逆転した結果、自民党が強く反対していた政策活動費の廃止や旧文通費の使途公開が実現し、ガソリン暫定税率を51年ぶりに廃止することもできました。予算案も国会審議を通じて修正が行われるなど、国会の風景は自民党一強体制の時とは大きく変わりました。この流れを止める訳にはいきません。

人口減少時代に日本が成長していくためには、一人ひとりの生産性を上げていくしかありません。誰もが生涯を通じて学ぶことが出来る、誰一人取り残さない学びの環境を充実させることは最優先課題です。人づくりへの投資こそが未来への投資です。

今後とも、子どもたちの未来のために責任を果たすことを約束いたします。

中道改革連合公認 元文部科学副大臣  
党共同国会対策委員長  
りゅう  
笠ひろふみ